

2016.4.25

被害概況 (4/24 :16:30)

【死者:60人】

(震災後、負傷の悪化、身体的負担による疾病による死者12人を含む)

【避難所:600箇所(36市町村)】

【避難者数:59,912人】

【住家被害状況:10,236~10,336棟】

(全壊、半壊、一部破損を含む)

【断水戸数:約23,800世帯】

断水が続いている地域があります。

【県立高校54校中、41校が被災】

【特別支援学校17校中、14校が被災】

主な被害は給水管や、壁などの破損です

【公立小中学校は27市町村、317校が被災しています。】

主な被害は給水管や、壁などの破損です

熊本県内公立学校は25日時点で204校が休校予定です。

参照元:

(2016/4/24 16:30時点)

政府現地対策本部会議、
熊本県災害対策本部会議資料

http://www.pref.kumamoto.jp/kinkyu/pub/default.aspx?c_id=9

4月14日9時26分に発生したM6.5の余震と、4月16日1時25分に発生したM7.3の本心は熊本県を中心に大分などでも被害を発生させています。

余震の数は減っていますが、未だ住民は不安な夜を過ごしています。

4月24日の状況

これまでに60人が死亡し、行方不明者は2名です。

震災後、負傷の悪化や身体的負担による疾病による死者が12人発生しております。

重軽傷は1370人となっており、現在も59,912人が避難生活を続けています。

特に被害の大きい地域は、熊本県の中部阿蘇地方です。特に被害の大きかった上益城郡益城町では現在も約20%の方が避難生活を続けています。

余震が続いており、夜になると不安で避難者が増える傾向にあります。

一方で家屋が全壊し、自宅に戻れない方も多くいます。仮設住宅の確保を検討する必要があります。

JPFのウェブサイト上の詳細情報

<http://www.japanplatform.org/E/programs/kyushu.html>

こちらもご参照下さい:

<https://www.facebook.com/japanplatform>



Peace Winds Japan, JPF member NGO dispatched its Search and Rescue teams

2016. 熊本地震に対する緊急対応

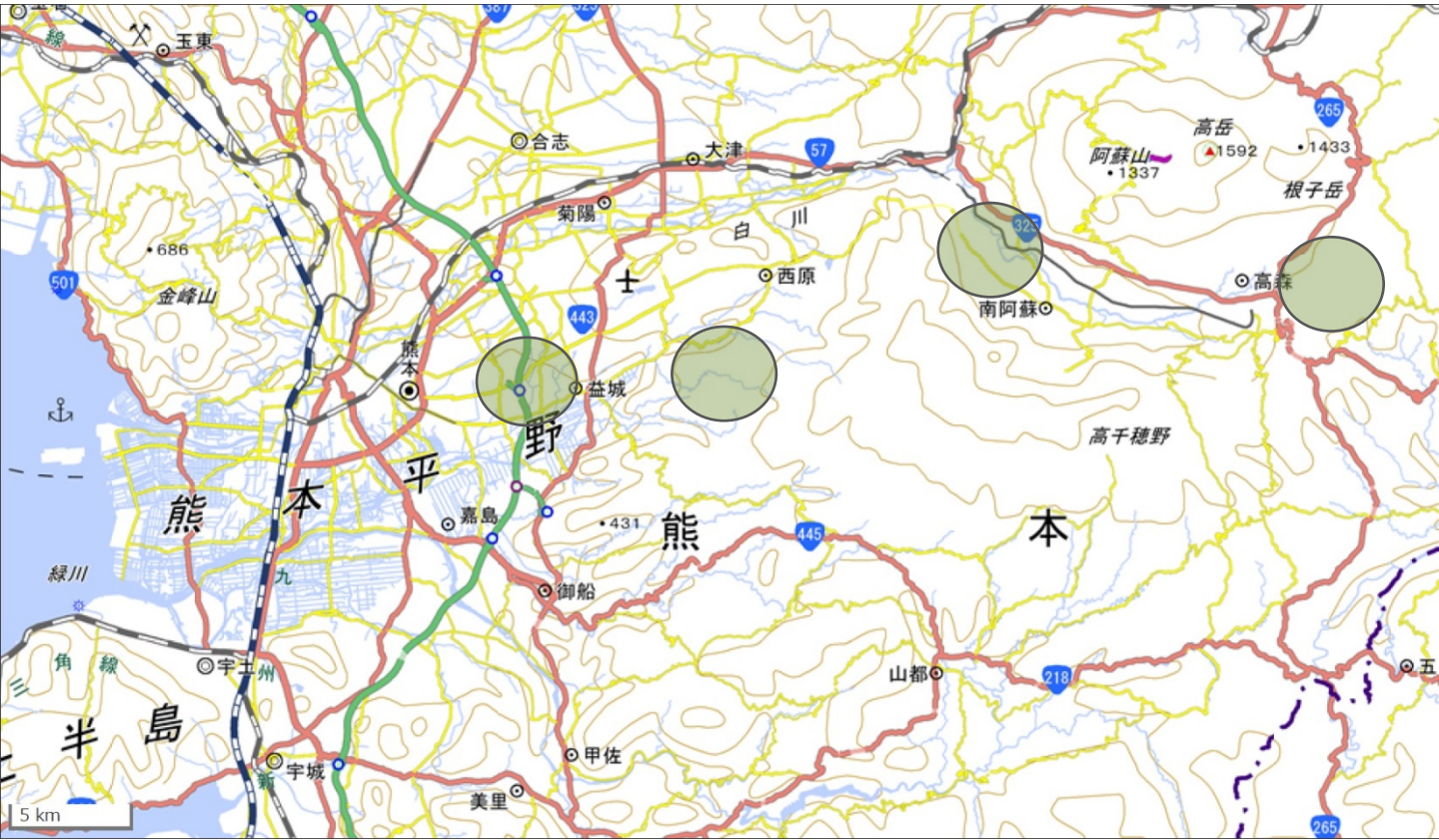
JPF事務局は、支援体制の把握及びJPF加盟NGOとの情報共有、被災地のニーズ調査のため熊本にスタッフを派遣しています。

既に対応を始めている、PWJ、AAR、ADRA、SCJなどと現地で情報共有を始めています。PWJは益城町の避難所サポートを行っており、SCJは益城町などで子ども支援を行っています。

支援の足りない地域、テーマ、今後発生しうる課題分野など、情報把握に努め、他の加盟NGOが民間ならではの草の根の緊急人道支援を行うために情報提供していく方針です。

活動地図

2016年4月23日現在



地図出典：国土地理院ウェブサイト

難民を助ける会 (AAR) 益城町：初動調査 物資配布 熊本市 西原村：物資配布
ピースウィンズ・ジャパン (PWJ) 益城町：避難所支援 益城町 南阿蘇村：捜索救助
災害人道医療支援会 (HuMA) 益城町、南阿蘇村：初動調査 益城町：医療支援
アジア協会アジア友の会 (JAFS) 熊本市、南阿蘇村：食糧配布

ピースポート災害ボランティアセンター (PBV) 初動調査
ジェン (JEN) 熊本市 南阿蘇村：食糧支援
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (SCJ) 益城町：子ども支援
日本レスキュー協会 (JRA) 益城町 南阿蘇村：捜索救助
シャンティ国際ボランティア会 (SVA) 熊本市 益城町：食糧支援

ジャパンハート (JH) 熊本市：初動調査 医療支援
ワールド・ビジョン・ジャパン (WVJ) 益城町：食糧、物資配布 子ども支援
CIVIC FORCE (CF) 益城町 南阿蘇村：捜索救助 益城町：避難所支援
ADRA Japan (ADRA) 熊本市：初動調査
オペレーション・プレッシング・ジャパン (OBJ) 益城町：物資、食糧配布

JPF助成事業

支援終了
活動準備～実施中
申請中
加盟団体自己資金、他資金による事業

ジャパン・プラットフォーム (JPF) 被災地全域：初動調査
--